

小松市重点目標

未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

授業の質的改革 →資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

- ①児童生徒が 主体的・対話的に学習したくなる授業
- ②児童生徒が 自己の思考を深め、自己表現したくなる授業
- ③児童生徒が 自己の学習をふりかえり、学びを実感できる授業

組織的な体制・環境づくり →児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成

- ④教職員が 目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち、課題の解決に取り組む
- ⑤教職員が 授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む
- ⑥教職員が 児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

令和6年度 学校評価重点計画

小松市立中海小学校
学校長 若山 直代

目指す児童の姿

「すすんで学ぶ子 思いやりのある子 じょうぶな子」

～創立から伝わる目標を未来に引き継ぐ～

すすんで学ぶ子・・・問いを持ち粘り強く取り組む 進んで対話し学びを深める 「自律」
思いやりのある子・・・自他を大切に行動する 優しい言葉や行動を選ぶ 「共生」
じょうぶな子・・・健康的な生活習慣を身につける おおらかで前向きな心で過ごす「ウェルビーイング」

(1) 学校の課題

- ・学習に向かう力はついたが、学力の定着において学年差や個人差が大きい。
- ・真面目に取り組もうとする児童は多いが、より主体的に取り組む姿勢が欲しい。

(2) 具体的な方策と検証

- 1 確かな学力と学ぶ力をつける授業づくり [算数アンケート、単元末テスト]
 - ・系統性と単元を見通した教材研究を行い、つけたい力を確実につける授業を行う。
 - ・ICTの活用と対話のある授業で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- 2 児童の思いから始める活動づくり [各種 児童アンケート]
 - ・学習や活動での見取りを適切に行い、児童の思いや願いを主体的な活動へとつなげる。
 - ・生徒指導の4つの視点を意識し、児童が学級への所属感や達成感を持つ指導を行う。
- 3 健やかな心と身体づくり [保護者アンケート 児童アンケート Q-Uテスト]
 - ・家庭と連携し、継続的に児童の生活習慣の改善をめざす。
 - ・様々な児童理解の機会を利用し、安心安全な教育環境をつくる。